

## 人と自然の、叡智の融合 調和する未来へ向かって——

2005年日本国際博覧会は、

「自然の叡智」をテーマとし、

問題提起型、参加型の博覧会を目指しています。

世界の人々の意見や考え、思いを共有することからスタート。

より多くの人々の参加を得て、

来るべき時代の実験場としての博覧会を

築き上げていきたいと考えています。

「国際アイデアコンペ」は、まさにそのための

足がかりとして実施したものです。

国内はもとより広く海外からも参加を募り、

優れたアイデアを本博覧会に反映すること。

そして、本博覧会に対する

参加意識の高揚にもつなげることを目的としました。

世界中から寄せられた膨大な数のアイデア。

そのひとつひとつに込められた地球への思いをかたちに変えて、

21世紀、新しい時代の博覧会に結実させていきます。



### 公募の概要

名 称 2005年日本国際博覧会国際アイデアコンペ

テ ー マ 「森の博覧会のアイデア」

サブテーマ

森の中で行う博覧会でやってみたいこと、見てみたいこと。

例 会場の森自体を舞台とする音楽会やオペラを開催する。

森や自然がパビリオンとなるアイデア。

例 会場内の自然自体を利用した自然博物館をつくる。

森や自然との関わりを体験できるアイデア。

例 バーチャル映像をもとに、人と森との関わり方の歴史を学ぶ。

応募資格 特に定めませんが、年齢により15歳以下と一般(16歳以上)の2部門とします。個人またはグループは問いません。

15歳以下の部 15歳以下の方を対象とします。

一般の部 16歳以上の方を対象とします。

募集期間 1999年3月25日～7月31日

審査委員 大貫 卓也(アートディレクター) 隈 研吾(建築家)

(50音順) 武内 和彦(東京大学大学院農学生命科学研究科教授) 立松 和平(作家)

俵 万智(歌人) 中沢 新一(中央大学総合政策学部教授)

日比野 克彦(アーティスト) 細野 晴臣(音楽家)

主 催 財団法人2005年日本国際博覧会協会

### 結果報告

応募総数 1,955点

15歳以下の部 512点 一般の部 1,443点

うち、海外からの応募は、30ヶ国より82点

審査結果 15歳以下の部 最優秀賞2点、優秀賞3点、佳作4点

一般の部 優秀賞3点、佳作10点(最優秀賞、該当作品なし)

実施スケジュール

1999年 3月25日 募集受付開始

7月31日 募集締切

8月12日 事務局審査

8月16日 予備審査

8月26日 予備審査

9月 8日 最終選考会

9月26日 表彰式

9月26日～10月11日 作品展示



作品紹介はこちら 